

さいたま市長 11月定例記者会見

平成26年11月6日（木曜日）

午後1時30分開会

- 進 行 定刻となりましたので、市長定例記者会見を始めさせていただきます。
 それでは、記者クラブ幹事社の時事通信さん、進行をよろしくお願いたします。
- 時事通信 11月の幹事社を務めます時事通信と申します。よろしくお願ひします。
 それでは、本日の記者会見内容につきまして、市長から説明をお願いします。
- 市 長 皆さん、こんにちは。
 先月後半から今月前半にかけて、2014 ツール・ド・フランスさいたまクリテリウム presented by ベルーナをはじめ市内の各区で区民まつりなど盛大なイベントが開催されております。まさにイベントの秋と言えるのではないかと思います。
 先週には、トルーカから帰国した翌日2日の日曜日に、浦和区、岩槻区、そして北区の区民まつりに出席しました。また、3日の月曜日には人形供養祭と鷹狩り行列に行っていました。天候にも恵まれ、どの会場も大変な盛況で、若者からお年寄りまでたくさんの市民の皆さんが思い思いにイベントを楽しんでいらっしゃいました。
 大都市の市民は地域への愛着が薄いと言われるかもしれませんが、区民まつりなどのにぎわいを見ますと、さいたま市では地域を愛する市民が非常に多いと感じます。
 今週は、明日からのコラボさいたま2014、今週末には、見沼区、西区、南区でふれあいフェアなどのイベントが目白押しで予定されております。この機会に是非、地域の人たちと一緒にイベントを楽しんで地域の絆を深めていただきたいと思います。

市長発表：議題「さいたま市文化賞・市政功労賞受賞者が決定しました」

それでは、本日の議題に入らせていただきます。

本日の議題は「さいたま市文化賞・市政功労賞受賞者が決定しました」についてでございます。

それでは、説明をさせていただきます。

さいたま市では、文化芸術、またはスポーツの分野におきまして顕著な功績のあった市民、または市にゆかりのある方々に文化賞を贈呈しております。平成16年から実施しておりまして、今年で11回目を数えます。昨年までの受賞者は合計で32名でございまして、旧市、浦和市、大宮市でもこういった賞を贈っており、それらは、53名の方々が受賞されております。

今年度の受賞者は、公益財団法人さいたま市体育協会の会長を務めていらっしゃる北清治さんでございます。3市合併に伴います体育協会組織の統合や公益法人化にご尽力をしていただきました。またさらに、さいたま市の相撲連盟の名誉会長、さいたまスポーツコミッション委員、さいたまシティマラソン実行委員会委員、さいたまクリテリウム実行委員会委員を務められるなど、長年にわたりまして、本市の体育、スポーツの振興発展に大きく寄与されました。

次に、市政功労賞でございます。市政功労賞は、市の公益の増進に寄与し、または長年にわたりまして市政の振興発展に尽力し、その功績が特に顕著である方々に対しましてその功績を表彰しております。こちらの賞も平成16年から実施をいたしてございまして、今年度で11回目ということになります。これまでの受賞者数は475名及び14団体となっております。旧市での受賞は145名ということでありまして、今年度は、各分野におきまして36名及び4団体に贈呈させていただく予定です。

表彰式でございますが、今月11月19日水曜日の午前10時からホテルブリランテ武蔵野におきまして行わせていただきます。ぜひとも取材をしていただければと思っております。

私からの発表は以上でございます。

○ 時事通信

それでは、市長からの説明について質問がある社はお願いいたします。よろしいですか。

では、幹事社として代表質問させていただきます。質問は2点あるのですが、まとめて行いますので、よろしく申し上げます。

幹事社質問：

① さいたまクリテリウムについて

② 横浜国際女子マラソンについて

まず、1点目なのですが、クリテリウムについて質問させてください。2度目の実施を終えて全体の総括と、あと次回以降の開催について検討している現在の状況を教えてください。

もう一点目なのですが、横浜国際女子マラソンについて。来年度さいたま市での開催が検討されているとの報道がありましたが、検討に至った経緯や今後の予定、またさいたま市で実施するメリットなど、市長の実施へのお考えがありましたら教えてください。

以上です。

○ 市 長

それでは、幹事社質問に順次お答えをしたいと思います。

まず初めに、さいたまクリテリウムについてのご質問からお答えをさせていただきます。先の2014ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムでは、相次ぐ季節外れの台風に開催も危ぶまれました昨年とは打って変わって天候にも非常に恵まれ、多くの観客にお越しをいただきました。取り立てて大きな混乱などもなく、大会を無事、また成功裏に終了することができたと考えております。

これも協賛各社様を初めオフィシャルサポーターズの皆様、警察、消防等、関係機関の皆様、またJR東日本様等、各交通事業者の皆様、会場周辺にお住まいの皆様、また事業者の皆様、各メディア関係の皆様のご理解とご協力によるものであると考えております。

特に埼玉県警察、JR東日本様には、具体的な数字までにはいたしておりませんが、昨年よりも大幅に警備体制、あるいは輸送体制を強化するなど、大会開催に多大なるご協力をいただいたと伺っております。

大会当日だけではなく、自転車関連業界や市内商店街の皆様には、早くから市内外で（のぼり）旗を掲示していただいたり、あるいはポスターを掲示していただいたりバナーを掲出いただくなど、大会気運の醸成に大いなるご協力をいただきました。また、今年から共催に加わっていただきました埼玉県にも、大会PRを中心に、彩の国だよりへの掲載など、全県的

な取り組みを展開いただきご協力をいただきました。

さらには、大会前日の来日選手たちによります市内交流会では、本市の代表的な観光資源でもございます氷川神社への訪問、また県立与野高校によります書道パフォーマンスや茶道体験を通じまして、日本文化を、そしてさいたま市を国内外に広く発信することができたと考えております。

こうした大会の成功は、決して市だけで成し遂げられるものとは考えておりません。このほかにも物心両面で大会を支えていただいた多くの皆様方に対しまして、この場をお借りしまして改めて感謝と御礼を申し上げます。

クリテリウムレースだけでなく、また同日に開催されましたさいたま自慢の地元グルメが一堂に会しました「さいたまるしえ」、またさいたま新都心駅東口で行われました自転車関連イベントであります「サイクルフェスタ」も朝から予想をはるかに超える盛況ぶりで、多くのお客様にご好評をいただけたのではないかと考えております。

また、浦和、大宮、鴻巣におけるサテライト会場におきましても、関係団体のご協力のもとに、多くのお客様に世界最高峰のレースをお楽しみいただくことができたと考えております。

このほか、東日本大震災で今なお不自由な避難生活を余儀なくされている方々をコミュニティアリーナ内の観覧席に招待させていただきましたほか、広島土砂災害義援金箱を設置して募金活動も行うなど、微力ながら継続的な被災地支援もあわせて行わせていただきました。

去年は、初めての経験ということもあり、大会運営に際しましてはいろいろな課題、あるいは反省点があったと感じておりますが、今年はそうした課題や反省点を踏まえて、少しずつでも改善することができたのではないかと考えております。

大会時にASOのアモリ代表が来日した際に次年度の開催について若干意見交換をしましたところ、具体的などころまでは踏み込んでおりませんが、方向性としては、継続開催の意向を協議していこうということで確認したところでもあります。

本市としても、このイベントを「自転車を活用したまちづくり」を推進する上でのシンボリックな大会として、また本市を代表するイベントとして

育てていけたらと考えております。

しかしながら、A S Oとの契約内容については、今年度、情報公開という面はある程度、日本の行政制度についてご理解いただけたと思っておりますが、それぞれの役割分担を初め、今後公費負担の軽減化を図る上でいろいろな形で引き続き交渉をしていきたいと考えております。

また、継続開催に向けましても課題も多くございます。具体的には、さいたま新都心で様々な開発が行われておりますので、同じようなコース設定が果たして可能かどうかという検討も必要となります。

また、開催日程につきましても、本市だけではなくJ C F（日本自転車競技連盟）との年間レーススケジュールの調整、あるいは国際自転車競技連合のレースカレンダーへの登録も必要となってくると考えております。

いずれにしましても、対A S Oとの交渉をはじめ各方面との調整など、様々な条件がクリアできれば、早目早目の準備に着手していきたいと考えておりますけれども、同時にこの大会の総括をしっかりと行って、議会をはじめ市民の皆様のご理解を得ることが何よりも重要であるとと考えております。

続きまして、マラソンの件についてのご質問についてでございます。初めに、検討に至った経緯と今後の予定についてお答えしたいと思います。本市では現在ハーフマラソンを行っておりますが、このハーフマラソンでやっておりますシティマラソンについて、平成28年度までにフルマラソン化をする準備を進めてまいりました。

そこに国際女子マラソンの開催について、非公式ではございますが、県と市に日本陸連等から打診がございました。市民が参加できるシティマラソン大会も同時開催できるよう検討しているところでございます。現時点では、開催の可能性について埼玉県や日本陸連等と検討しております。

また、メリットについてでございますが、もし本市でシティマラソンと同時に開催ができれば、大会価値の向上につながると考えております。また、シティマラソンと同時に開催することで「スポーツのまちさいたま」をアピールする国際的なイベントとして魅力的な事業であると考えております。

さらに、これまで国際女子マラソンはオリンピックの選考レースにもな

っていたと伺っておりますので、注目度も高く、さいたま市を国内外へアピールできるものと考えております。

以上でございます。

幹事社質問に関する質問

- 時事通信 まず、市長のお話について、幹事社として質問させていただきます。
クリテリウムについてなのですが、2回の継続開催を終えて、クリテリウムというイベントとして以外に、自転車を活用したまちづくりとして、イベント以外の何か新しく考えている施策などがもしありましたら教えてください。
- 市 長 クリテリウム以外のイベントということですか。
- 時事通信 はい。以外に自転車をシンボルとしたまちづくりに関して何か施策を考えているものがありましたら教えてください。
- 市 長 現時点で自転車のまちづくりの大綱づくりを進めております。「たのしむ」、「はしる」、「まもる」、そして「とめる」という4つの視点から、これからさいたま市は自転車のまちづくりを積極的に推進をしようということで、今その計画づくり、政策大綱づくりを進めておりますので、その中でさいたまクリテリウムというものを「たのしむ」ということの中に位置づけるとともに、総合的に自転車のまちづくり、どうしても自転車という、基本は走りやすい環境をつくる、自転車レーンを含めてということが中心になりますけれども、それに加えてルールを守っていただく。まだまだ自転車事故が多いというのも現実としてございますし、さいたま市内でも自転車にかかわる事故が多いという部分もございます。その安全性を高めていくための事業、それから駅中心に駐輪場の問題ということもさいたま市にとっても大変大きな課題でございます。駐輪場の整備、それらにあわせて、自転車に楽しく乗るという自転車文化の醸成というような視点からもしっかりと皆さんに理解をしていただいて、自転車を安全に、そして元気に、そして楽しく乗っていただけるまちづくりというものを進めていきたい。この自転車のまちづくりが、環境あるいは健康に大変良い乗り物でありますので、これからさいたま市が目指す環境先進都市であったり、あるいは「健幸のまちづくり」といったものとも大変合致をする事

業になると思いますので、そういった視点からもあわせて事業を充実させていきたいと思っております。

○ 時事通信 もう一点、横浜国際女子マラソンについてなんですが、今非公式に検討の打診があつて、開催について検討しているところということですが、正式な決定の時期などについて、見通しがありましたら教えてください。

○ 市長 現時点でまだ具体的にいつごろということは申し上げられませんけれども、いずれにしましても開催が決定した段階で皆様に発表させていただきたいと思っております。

○ 時事通信 それでは、代表質問に関して何か質問がある社は質問をお願いします。

○ 読売新聞 読売新聞です。

クリテリウムについてお尋ねします。今年の大会の来場者数については、当日主催者発表はありませんでしたが、その後どのような形で具体的にどういうふうに調査をしているのか、いつごろ公表する予定なのかお聞かせください。

○ 市長 当日もお話ししましたとおり、きちんと調査をした形で発表させていただこうということで現在調査を進めているところでございます。手法等については、担当のほうから。

○ 事務局 今回の来場者数につきましては、専門業者さんに業務委託をしまして、それで来場者数の算出作業をしてございます。いずれにしても、それで数字が出た段階でまた皆さんに公表できればという形で今作業中でございます。

○ 読売新聞 専門業者に委託しているということでしたけれども、もう少し詳しく手法などを教えていただければ教えていただけますか。

○ 事務局 今まだ調整中なので、もう少しお時間いただいてからでも良いでしょうか。済みません。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞です。

クリテリウムに関してお伺いします。先ほど来場者数のお話が出ましたが、昨年経済効果もある程度時期が経ってから発表されていると思います。今年の大会についての経済効果等の発表はいつごろを予定されているのか、またその手法、同じ方法でやるのか、または変えてやるのか、その辺をちょっとお聞かせいただきたいんですが、お願いします。

- 事務局 経済効果を出すためには、まず来場者数が出ないと経済効果ができないので、来場者数が決まった後にその数値をもとに、これもやはりそういった専門の例えばコンサルタントとか、そういった会社に依頼して経済効果を算出しようと考えてございます。
- 埼玉新聞 そうしますと、去年はマイルスの手法に当てはめて計算したという形だったと思うんですけど、もうちょっと違う方法でやる予定ということでしょうか。
- 事務局 そこについても調整中でございますので、もう少しお時間いただければと思います。
- 毎日新聞 毎日新聞です。

 シティマラソンについて2点お伺いさせていただきます。まず、1点目がシティマラソンの開催の決定時期なんですけど、毎年横浜でやっていた時には、次年度の開催概要について、その年の大会が終わった後にお話をある程度されていたというふうに伺っています。そのスケジュールからいきますと、ことしは16日に開催ですので、その時点で何らかの発表をするような、例年のスケジュールでいくと、そういう可能性もあるかと思うんですけど、議会に正式に諮る前に市として回答される可能性もあるのかというのを1点まずお伺いさせていただきます。11月16日の大会後などに発表される可能性があるかというのを1点お伺いさせていただきます。

 あと、もう一点が、国際女子マラソンをさいたま市に移管した場合に市が負担する費用はどの程度になると現段階で見込んでおられるのかというのをお伺いさせていただきます。
- 市 長 11月の横浜(国際女子)マラソンの時に発表できるかということについては、まだわかりません。それから、私たちがやるとすれば、当然フルマラソンとセットでという考え方を持っていますので、そのやり方等を少し精査をしていかななくてはいけないということですので、その中で結論を出していくということになると思います。
- 毎日新聞 関連してお伺いしたいんですが、そのやり方を精査される前にまず横浜国際女子マラソンでさいたま市でやるということについてオーケーを出される可能性もあるということですか、先にそちらについて。
- 市 長 詳細についてということになると、もう少し段階を追ってということに

なるかもしれませんので、その辺の発表のタイミングを、どこまで合意ができたかということなどについては、まだお話ができる段階ではないと思っております。

- 朝日新聞 朝日新聞です。
クリテリウムについてなんですが、大体の収支、今大会の収支というのは今出ている状況なのかどうか教えてください。
- 市長 クリテリウムの収支についても、今作業というか、まとめている段階があります。基本的には、赤字にはなりません。ただ、最終的には、グッズであるとか、サポーターの募集などについてはまだ現在も行っているという段階でありますので、特にグッズ（販売）は終わった後3カ月ぐらいありますので、そういったことも踏まえながら、来年度の検討をするに当たっては、どこかの段階で中間報告的なことをしていかななくてはいけないと思っておりますけれども、まだそれを精査している段階だということです。
- 朝日新聞 赤字にならないとおっしゃって、グッズが3カ月ぐらいといっても多分そんなに大きくは売れないと思うんですけども、どのぐらいの黒字幅で、市費から出ている部分をどれぐらい圧縮できるのかという目途というのはどのぐらいなのでしょう。
- 市長 それも今精査している最中なので、もう少しお時間をいただければと思います。
- 埼玉新聞 横浜国際女子マラソンの関係でお伺いします。
先ほど市長のお話ですと、こちらの非公式の打診に対して前向きな捉え方をされていると思うんですが、市長ご自身としては、そういったレースが来ることについては歓迎するという意向で、受け入れたいというお考えなのでしょう。
- 市長 1つは、先ほどもお話ししましたとおり、もともと今現在ハーフでやっているさいたまシティマラソンをフルマラソンにしたい、あるいはフルマラソンにしてほしいという市民の皆さんからの要望もあり、検討を続けてきております。その中で、今回こういう陸連の公認になり得るようなマラソン大会を一緒に開催できるということについては、非常に前向きには捉えております。もちろん先ほど言いましたように大会の付加価値が高まるということにもなるかと思っておりますし、より多くの皆さんに知っていた

く機会にもなろうかと思えます。それは、あわせて市民の皆さんのマラソンを通じての健康増進ということにもなりますし、またさいたま市のイメージアップということにも当然なってくると思えますので、そういう意味では前向きにというか、良い話であると思っております。

- 埼玉新聞 関連してなんですけど、ここからはちょっと具体的なことになるので、まだかもしれませんが、開催するとしたら、県と市の共催になるのか、どちらかが主催して後援になるのか、その辺をどうするか、あとその場合の予算等の役割分担をどうするか、その辺はもうある程度県と話し合われているんでしょうか。
- 市長 そういった具体的なことについては、まだ検討がされておられません。
- 埼玉新聞 もう一点なんですけど、女子マラソンは毎年秋に開催してまして、恐らく陸連側は同じ時期にという考えでいると思います。さいたまシティマラソンの場合は、年度末の早春の時期に行われているということで、時期が違いますけど、その辺の調整はどのようにされる予定でしょうか。
- 市長 陸連側の事情もあるでしょうし、さいたま市側の事情もありますので、その辺は調整をする中で考えていくということになるのではないかと思います。
- 埼玉新聞 そのあたりの違いというのは、克服可能な課題なのか、かなり難しいテーマなのでしょうか。どのようにお考えでしょうか。
- 市長 不可能な課題ではないと思いますけれども、とはいえその時期というのは非常に大切だと思っておりますので、やる場合には調整が必要になると思います。
- 日本経済新聞 日本経済新聞と申します。
さいたまクリテリウムに関連してお伺いします。来年度以降の開催について、先ほど市長は早目の準備に着手したいというふうにおっしゃいましたけれども、来年度の準備に着手するためには予算上の何らかの措置が必要になってくるかと思えますけれども、債務負担行為だったりとか、準備のためのお金を補正で積んだりとか、あと基金をつくってほしいというような声が議会から上がっているかと思えますが、来年度の予算措置について、現状でどういった検討をされているのか教えてください。
- 市長 具体的にどういう形をとるかというのはまだ決めておりませんが、

いずれにしましても2月の予算の議会を経て、それから動き出すということになりますと、極めてスケジュールが短いということを過去2回やりまして改めて痛感したところでもありますので、早目の準備ができるように、その手続と申しますか、議会に提出することも含めまして、しっかりと考えていかななくてはいけないと思っております。いずれにしても、なるべく準備が早い段階からできるような形をつくっていかねばと思っております。

○ 朝日新聞

朝日新聞です。

クリテリウムなんですけれども、今年のクリテリウムで、議会でも話が出たんですが、担当の部署がかなり忙しくて、事務量が半端なく多いということで、来年の開催に向けては、担当の部署を強化するであるとか、あと去年から今年にかけてまた部署を変えられましたけれども、変えるとか強化するとか、そういうお考えはおありでしょうか。

○ 市長

このツール・ド・フランスという大会、あるいは今さいたま市が作りまして進めていますスポーツコミッションも含めて、どういう形で進めていくかということについては、人材であるとか、あるいは組織体制の醸成というのも、この2回のクリテリウムの大会を行って感じているところでもありますので、来年度にすぐ対応していくものと、あるいはもう少し中長期的に対応しなくてはいけないことというのがあるかと思っておりますけれども、いずれにしましても強化をしていかなければいけないだろうと考えております。やり方については、来年度すぐできるものと、あるいは少し時間をかけながらやっていくことと、2種類あるのかと思っております。

○ 時事通信

それでは、幹事社質問以外にそのほか質問がある方はお願いします。

その他質問：官製談合について

○ 毎日新聞

毎日新聞です。

市職員が起訴されました談合事件に関することでちょっとお伺いしたいんですが、全庁調査を南部、北部の公園関係から全体の全庁に拡大されましたが、それについての狙いということを改めてお伺いしたいのと、あとその全庁の調査について、完全な内部調査ということで、写真のコピーであるとか、どの修繕がどういった結果だったとか、そういった詳細なこと

は調査報告を求めないという形式をとるといふふうに聞いていますが、この調査の方法についての市長のお考えもお聞かせください。

○ 市 長

まず、この全庁調査をやる意義ですけれども、今回施設修繕業務ということで職員が逮捕されるという事案を受けて、私たちもこうしたことが起こったということについては厳しく受けとめていく必要があるだろうと思っております。もちろんこれまでもコンプライアンスを維持していくために、事務手続の改革をさせていただいたり、いろいろなことをやってきたわけでありまして、それにもまして今回予算化されて支払いまでした事業が実際行われていなかったという極めて市民の皆さんの信頼を失ってしまうような事件ということでありましたので、これを契機にしっかりと点検を行って、そういったことがほかにないのか、あるいはそういったことを改善するためにはどういうふうにしていったら良いのかということと一人ひとりの職員がもっと真剣に考えていかなければいけないと思っておりますし、また私たち幹部としましても、どういうふうにしたらそれが起こらないようにできるのかということにしっかりと向き合ってやっていかなければいけないと思っております。

その第1段が、まず内部調査をしっかりとしていこうということで、今全庁（調査）を行っているということです。ただ、修繕については、比較的少額であったり、件数がかなりあるということがございますので、できるだけ私たちとしてもしっかりと調査をしていきたいと思っておりますが、客観的な資料があるもの、比較的わかりやすく証明ができるものについてはそういった形でも大丈夫なのかなとは思っておりますけれども、全部そういうものであるかどうかということもありますので、いずれにしましてもそういった内部点検をして、履行されているかどうかということが確認できているのかということもしっかり把握をしていこうということで、この全庁調査という形で取り組ませていただきました。

とにかく事務量が相当ございますので、その中で今回としてはベストではないかもしれないですけれども、よりベターな形でやらせていただいていると思っております。またあわせて、その中で必要があれば、第三者委員会等ということについても考えていかなければいけないと思っておりますし、いずれにしてもこうした事件が二度と起こらないような仕組み、そ

れから人材の育成というようなことをやっていかなければいけないと思っております。

- 毎日新聞 関連してお伺いしたいんですが、今回の内部調査で、修繕を何件していたとかしていないとか、その数だけを報告させるというふうに伺っているんですが、そういったやり方ではなくて、どの修繕について、どういった結果だったとか、少しでも具体的にすることで、内部だからということで調査が曖昧になっているのではないかという疑義も持たれないことにながるとは思うんですが、なぜそういった数字の報告といったような、外部から点検がしづらいようなやり方になっているのかというのを改めてお伺いさせてください。

- 市長 いずれにしても、できるだけ外部の人たちにも理解していただけるような調査をしたいと思っております。

ただ、1個1個できるだけ厳密にやっていきたいとは思っておりますけれども、事務量というか、修繕については件数がかなり多いということがございますので、その中で客観的なものでわかるものもございますので、それらについては確認をさせていただいて、そうではなく、そういったものでは確認できないものをよりしっかりと調査するという形になるんだろうと思っております。

- 埼玉新聞 談合事件について関連でお伺いします。

私もですね、調査の結果の、どれだけちゃんと調べたかというのを検証するには、外の目が必要かなと思うんですが、先ほど第三者委員会等の設置も状況に応じて考えていきたいということですが、第三者委員会をつくるにしてもつくらないにしても、何か内部調査の結果を、ちゃんと正しく行われているかというのを確認するような手だてというのは考えていらっしゃいますでしょうか。

- 市長 調査委員会も複数の人数でやっておりますので、その中できちんとチェックが働くと思っておりますので、資料を見ただけでは確認ができないような案件については、より詳細な調査ということにはなってくると思いますが、ある程度客観的なもので判断できるものについては複数の目でそれらを判断していくという形の中で、個々がやるということだけではなくて、チームをつくっておりますので、その中で客観性というのをより

担保していきたいと思っております。

○ 埼玉新聞 もう一点お伺いします。

現時点で担当の今回の件で逮捕された職員の処分をどうされる予定かというのと、もう一つが工事が履行されていないのに支払われていたということで、その対応ですね、損害賠償等についてするのかどうか、その辺の進み具合を、ちょっともし前回と変わっているようでしたら教えていただきたいと思えます。

○ 市 長 10月の29日に、総務局、建設局、都市局の職員3名で田崎主任と接見を行っております。起訴事実について本人は認めているということでありますので、今後は、適正な時期にさいたま市職員分限懲戒等審査委員会を開催して、審議の上、処分を決定したいと思っております。

それから、業者に対しては、今基本的には執行されていないということについては私どもも確認ができていますところでありますので、今弁護士と相談をしながら請求の準備を進めているというところですよ。

その他質問：鉄道博物館のリニューアルと新都心の駅前複合ビルについて

○日本経済新聞 日本経済新聞と申します。

話は変わって、昨日ですね、JR東日本のほうから鉄道博物館の増築とさいたま新都心の駅前の複合ビルの開発についての発表がありました。いずれもさいたま市を代表する大きな2つの駅での大きな開発になると思うんですけども、これに関して市長がどう評価されているのかということと、あと大宮駅とさいたま新都心駅周辺の開発ですね、市としてどうやって今後も盛り上げていきたいかというお考えをお聞かせください。

○ 市 長 まず、1点目についてですけども、まず鉄道博物館が今の1.5倍に拡張されるということは、これは本当にさいたま市にとっても大変うれしい、ありがたいことであると思っております。これまでも鉄道博物館は、開業以来、(年間)100万人を超えて、最近(でも)80万人の観客が来ている、鉄道の大変好きな方々からすると、まさに聖地とも言えるような場所であります。そこがさらにパワーアップをして1.5倍の広さになり、またそこにさらにおもしろい、いろいろな展示などが行われるということは、

より集客力を増すということにもなると思いますし、鉄道のまちとしてのさいたま市のイメージとしてもぴったり合うものであると思っておりますので、私たちとしては大歓迎であります。

それから、さいたま新都心に建設予定のホテル等の複合施設につきましても、特にホテルを整備していただけるということについては、これはもう私たちも日ごろから宿泊機能が少し弱いということを感じておりますし、今はいろいろな場所で、是非、そういった国際ホテルなどに来ていただきたいというようなことを私自身も発言しておりますので、当初から計画をされていた部分でありますけれども、ようやくそれが実行に移されていくということについては、大変私たちもうれしいことであります。

ちょうど完成予定の2017年には世界盆栽大会もございますし、またその3年後には東京オリンピック・パラリンピックという世界的な大イベントも行われることとなりますので、そういう意味でJRさんがそういった施設を整備していただくということは、私たちにとって大歓迎であります。

そして、さいたま市は今2都心4副都心ということで都市計画、まちづくりを進めています。そのうちの1つが大宮駅、そしてさいたま新都心駅周辺を1つの都心と位置づけておりますので、今後そこに交通の結節機能を強化していったり、あるいは宿泊だとか、交流機能、都市機能を拡充していくということは、これから大変重要なことだと思っております。特に来年、北陸新幹線の開通、そして宇都宮線、高崎線の東京駅までの乗り入れ、あるいは神奈川方面まで行けるようになるということもありますし、またさらに再来年には北海道新幹線の開通も予定されていると聞いておりますので、そういう意味ではこの交通結節機能についてはさらに高まってくるということもございますので、私たちとしてもその周辺の都市機能を拡充していく、2都心の中でその都市機能を拡充していくということについては私たちとしても歓迎をしたいし、積極的にまちづくりの中で進めていきたいと思っております。

その他質問：浦和レッズについて

○ 毎日新聞

今11月の22日の日に、浦和レッズが8年ぶりのシーズン優勝の可能

性があるということで、サッカーのまちづくりを進めるさいたま市として、これをどのように受けとめているかということと、もし優勝した場合に、関連イベントなど現段階で予定していることがありましたらお聞かせください。

○ 市長 現在、優勝に大手がかかった状況ということで、まず11月22日のガンバ大阪戦に勝利すれば優勝が決まるというところまで来ておりますので、私たちは大いなる期待に胸を膨らませているところであります。

そんな中で、それにあたってどんなイベントをとということでもありますけれども、ちょうど前回優勝したのが2006年のシーズンだったと思っておりますけれども、その時にいろいろ行ったことなどを少し参考にさせていただきながら、やはりサッカーのまち、スポーツのまちさいたま市として、大変大きな喜びであると思っておりますので、それに合わせてイベントができればと思っております。

また、レッズレディースのほうも、今上位といいますか、1位を走っておりますので、できればダブル優勝になったらもっと良いと思っております。

○ 埼玉新聞 レッズの関係に関連してなんですけども、先ほど優勝してからのイベントを考えていきたいというお考えですが、22日に向けて盛り上げる何かイベントをやる予定があれば教えていただきたいのと、あと当日、例えばスタジアムに入れないお客さんとかがかなり出るんじゃないかと思うんですね、そういう意味ではパブリックビューイングとかやるというのも一つの手かなと思うんですが、当日の盛り上げ方等も何かありましたら教えていただきたいと思います。

○ 市長 11月22日が一番であるということでありまして、その辺の認識は持っているところですけど、まだ具体的にその日にとか、あるいはその日までに何をやるかということについては、まだ決まったものはございません。今後、そういったことも含めて考えていければと思っております。

その他質問：国際ホテルの誘致について

○ 埼玉新聞 もう一つよろしいですか。先ほどのホテルと、あと鉄道博物館の関係なんですけど、市長は議会でも国際ホテルを誘致したいようなお考えを述べて

おられると思うんですが、今回のホテルの進出はその誘致したいと考えていたものではないということですよ。

○ 市長 そのものではないとは申し上げますし、私たちとしては宿泊機能を充実させたいという思いがあります。ですから、そういう流れの中では、当初から計画自体はありましたけれども、ようやくここで計画が実行されるということについては、その流れの一つということも言えますし、1つができて終わりというよりは、やはり宿泊施設が充実していくことが必要だと思っておりますので、あわせて、もう少しそういった施設が増えていくことを期待したいと思っております。

○ 埼玉新聞 そうしますと、今後もそういった誘致に向けての動きを進めていって、ある意味呼び水になるような形でということで期待されているということですか。

○ 市長 そうです。今回の計画が実施されるということは、もちろん新都心に病院建設中ということもありますけれど、北陸新幹線の開通であるとか、いろいろな要素があって実施ということになってきたものだとも思いますので、そういう意味では一つの呼び水になっていただけるとは思わないかということで期待をしたいと思っております。

その他質問：世界盆栽大会について

○ 埼玉新聞 あともう一点なんですけど、どちらの施設も2017年ということで、これはたまたまなのかどうなのかわかりませんが、盆栽大会の年です。そういう意味で、相乗効果というのを期待されると思うんですが、これを生かしてこういうことをしていきたいみたいな、今ですね、市長の構想といいますか、お考えがありましたら教えてください。

○ 市長 そうですね。まだその話は聞いて間もないので、どういうふうにするかという具体的なところまではもちろん検討もしておりませんが、ただ、現時点でも今、例えば大宮盆栽美術館と鉄道博物館については、両方行けるバスを回遊するようにさせていただいたりもしておりますので、ちょうどこの2017年というのはオリンピック前にさいたま市としても大変盛り上がる年になるだろうと思っておりますので、盆栽とあわせて鉄道ということについても積極的にPRする機会だろうと思っておりますので、連動させ

て何かできるようにしていければと思っています。

○ 埼玉新聞 埼玉新聞と申します。

関連してなんですけれども、世界盆栽大会2017年4月ということですね、もう2年半ということなんですけど、メインの会場ですとか、あと例えばボランティアですとかいろんなスタッフが必要になるかと思うんですが、そのあたりの決定のスケジュールみたいなものがありましたら、計画がありましたら教えていただきたいんですが。

○ 市長 現在準備委員会を行っておりますので、その中で今議論をさせていただいているところでございます。

いつごろかということについては、担当のほうから。

○ 事務局 観光政策課でございますが、7月に、今市長が申しあげました準備委員会立ち上がりまして、今月、明日、第2回目の準備委員会が開催される予定です。

これは、日本盆栽協会が事務局を担っているんですけれども、その中でスケジュール等も今後検討されていく予定でございます。

以上でございます。

○ 埼玉新聞 メインの会場とかもそこで決まるということですか。

○ 市長 そうですね、はい。

その他質問：統一地方選挙について

○ 朝日新聞 朝日新聞です。

統一地方選挙まであと半年を切りまして、先日市長も代表質問のほうで答えられたんですけども、4年前にですね、市長はさいたま改援隊というのをつくられてやっておられましたけども、今回の選挙ではそういったことをするつもりがおありなのか、あと前回のさいたま改援隊というのを現時点でどう総括されているのか、教えてください。

○ 市長 今回については、そういったいわゆる地域政党的なものを立ち上げようという計画はございません。

前回については、そういう地方主権、地方分権という大きなテーマがあり、もちろん現在でもそれは続いているという認識をしておりますけれども、その中で特に子ども手当の問題など、かなり具体的なテーマもあった

りましたので、その中で一定の役割は果たせたかと思っておりますが、現時点では地方分権、地方主権ということを実現していくには、長い期間かかっていく必要があると思っておりますので、その中で、やはり日々の積み重ね、努力、国に対する要望なども含めてやっていくことが重要であると思っておりますので、そういった中で実現をしていきたいと思っております。

- 朝日新聞 今のご発言でいくと、一定の役割は果たせたという。
- 市長 そうですね、それぞれいろいろな評価はあるかもしれませんが、それなりに、自分なりに当初の目的は、100点かどうかは別としても、果たせたと思っております。
- 時事通信 どうもありがとうございました。
以上をもちまして、本日の記者からの質問を終了させていただきます。
- 進行 以上をもちまして、市長定例記者会見を終了させていただきます。
次回の開催は、11月21日金曜日、1時半からを予定しておりますので、よろしく願いいたします。ありがとうございました。

午後2時22分閉会

※この議事録は、明らかな言い直し、重複した言葉遣い、話し言葉などを読み易く整理したものを掲載しています。なお、会見後追加・訂正・補足等された文言等については（ ）とし、下線を付しています。